



# いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより

令和3年11月11日 第6号 文責:校長

## 「第4節 「学び」節 校長講話」より

前節「絆節」では、愛宕祭や修学旅行、わっくWORKなどの行事を通して仲間との絆を深めることができたと思います。生徒会主催のレッツディスカスでもリーダーとフォロアーのお互いの協力が大切だということを再確認できました。

11月からは「学び」節です。数年前このようなことが話題になりました。「みなさんが大人になる頃には今ある職業の半分はなくなっている」というものです。この話を知っている人もいるかもしれません。たとえば野球やテニスなどの審判、遊園地のチケット係、建設機械のオペレーターなどです。これらの仕事は未来ではすべてロボットがしているというのです。もうすでに人間がしていない仕事もあります。スーパーのレジなどセルフレジが増えてきました。

これからの時代は人口の減少や地球温暖化による気候の変化、今話したように働き方が大きく変わるなど予測不可能な時代といわれています。20年後皆さんが中心となって活躍する時代にはどのような力が必要でしょうか。

難しい問題がたくさん出て来ると予想されますから、

○一人で考えるのではなく、みんなて話し合う力。

○話し合いの中から 新しいものを作り出す力。

例えば、先ほどなくなる職業があると言いました。新たに職業を作らなければいけません。

○課題を解決する力。

100%解決できなくてもかまいません。ここまではできたと前向きに考えあきらめずに仲間と取り組む力です。

以上のような力が必要になってくると思います。

では、どやってこのような力を身につければよいのでしょうか。実はすでに皆さんは実行しています。今回の合唱の陣や紅白の陣でリーダーの人は応援合戦の内容を考えるため話し合ったり、アイデアを出し合ったりしたと思います。このような活動が大切です。

( 中略 )

皆さんが大人になる時代、予測が難しい時代に必要な力は「仲間と協力して一緒に考えながらあたらしいものをつくる」力、「難しい問題をあきらめないで少しずつ解決する」力だと思います。

そのために必要な学習は、グループ討議や自分で調べたり体験したりしてみる、あるいは、教え合い学習の場面で仲間に教えてみる。やらせる学習でなく自分から進んでやる学習です。

学習の基本も大事です。授業を受ける時の約束を守る。特に、本校で大切にしているおへそで人の話を聞くことや家庭学習をしっかり行いましょう。

「学び」節が始まる今週は、「人はなぜ学ぶのか」について1年生から3年生まで、考え、議論する機会がある週です。ぜひ真剣に考えてください。また、学校生活の中の午睡やその後の黙動清掃についても意義やその意味を確認しましょう。そうすれば「学ぶ」ことの大切さが見えてくると思います。

## ◇暦の中の学校生活◇

【3年修学旅行・2年わっくワーク】

10月20日(水)～22日(金)に3年生は県内を中心とした修学旅行に、2年生は山辺町内を中心としたキャリア教育の一環としてのわっくワークを行いました。

3年生の修学旅行は初日、クラス別研修として、陶芸やサンドブラスト、山寺参拝、加茂水族館などの体験や散策、見学などの研修を行い、湯野浜温泉に宿泊しました。2日目は学年全体で羽黒山参拝、最上川船下りを行って、蔵王温泉に宿泊しました。3日目は、朝、蔵王お釜の見学を予定していましたが、あいにくの天候のためエコーラインが通行止めとなり、蔵王温泉周辺の散策に変更となりました。そこから山形市に向かい文翔館の見学、パレスグランデールでテーブルマナーを体験しながらの昼食、そして最後の研修地であるリナワールドで全旅程を終了しました。

私たちの故郷には魅力がたくさんあります。それを再確認できた旅行でした。また、生徒同士が時間を共有して一日を過ごすことにも絆の深まりを感じました。思い出に残る修学旅行ができたと感じています。新型コロナウイルスの感染拡大によって、修学旅行の行き先の決定をぎりぎりまで延ばしましたが、実施できてとてもよかったですと感じました。



2年生はこの期間、わっくワークで各事業所、職場を訪問して実際の仕事を体験させてもらいました。以前までは職業教育として行われていた学習が、キャリア教育という学習に変わりました。一人一人の社会的・職業的自立に向けて基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会で自分の役割を果たしつつ自分らしい生き方を実現していくことを促す教育がキャリア教育です。簡単に言うと働くための能力や働く際の態度等を学び、自分の生き方を実現していこうという学びです。事業所様からのアンケートを読むと子どもたちがどんな学びを得たかが見えてきました。以下には事業主様の声を載せたいと思います。



- ・多くのお年寄りとの接し、笑顔を引き出すことができた。たくさんの質問をして積極的に学習ができた。
- ・わからないことは質問する、真剣に話を聞く、という「2つの力」が向上したと思います。
- ・仕事の覚えも早かった。行動もテキパキしていた。作業のスピードも日に日にあがっていき、頼もしさを感じた。積極的に自らあいさつしたり、行動したりできればなおいいと思う。
- ・あいさつの声の大きさがよくなった。すすんでお客様にあいさつできて良かった。職場で楽しい時間を過ごすことができた。ありがとう。
- ・就職したときもこの活動を思い出して欲しい。かえってお客様から君たちの活動に感謝とねぎらいを受け、「ありがとう」と言われてうれしくなった。

協力していただいた皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。